

[成果情報名] 長崎県の認定農業者の動向

[要約] 長崎県の認定農業者数は2002年末で4,067人である。2000年の認定農業者数を経営形態別・単一経営農家の第1部門別で見ると、単一経営農家が62%、準単一経営農家が30%、複合経営農家が8%で、工芸作物と施設野菜部門を第1位部門とする農家割合が高い。また、同様に専業農家に対する認定農業者の割合をみると、多くの地域において施設野菜、花き・花木部門で高く、稲作、露地野菜で低い。

[キーワード] 認定農業者

[担当] 長崎総農林試・企画経営部・経営科

[連絡先] 0957-26-3330、tobay@pref.nagasaki.lg.jp

[区分] 営農

[分類] 指導

[背景・ねらい]

県や市町村の地域農業振興に関する計画作成の効率化・迅速化を図るため、各種統計資料のデータベース化と、地域農業の実態把握・動向予測ができる検索・分析システムを構築する。ここでは、統計データベース（農林業センサス、農業構造動態調査）と農業経営改善計画の認定状況（農業経営課資料）を使って、県及び12地域（長崎、西彼、諫早、大村、島原、加津佐、佐世保、江迎、平戸、五島、壱岐、対馬）の認定農業者の動向を整理し、地域の特徴を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 長崎県の認定農業者数は、制度初年度の1994年以降増加し2002年度末で4,067人でこれは1995年の約3倍である（図1）。地域別では、島原の1,129人が最も多く県全体の28%を占める。一方、販売農家は年々減少している。
2. 長崎県の専業農家に対する認定農業者の割合は、2000年は45%でこれは1995年の3倍である（図2）。地域別では、西彼が最も高く、次いで大村、諫早、島原、佐世保と続く。
3. 2000年の認定農業者の経営形態の構成割合は、県全体では単一経営農家が62%、準単一経営農家が30%、複合経営農家が8%である（表1）。地域別では構成割合に違いがみられ、単一経営に特化している長崎、県平均に近い西彼・大村・島原・佐世保、単一経営が準単一経営よりわずかに多い加津佐・江迎・平戸・五島、単一経営と準単一経営がほぼ同数の諫早・壱岐、複合経営が多い対馬に区分できる。
4. 2000年の認定農業者の単一経営第1位部門の構成割合は、県全体では果樹類、施設野菜、工芸作物部門が高く、麦類作、養鶏、稲作、露地野菜、養鶏、雑穀・いも類・豆類部門が低い。地域別では違いがみられるが、工芸作物、施設野菜部門は多くの地域で割合が高い。
5. 2000年の専業農家に対する認定農業者の割合は、県全体では工芸農産物、養豚、花き・花木、酪農、施設野菜部門が高く、稲作、露地野菜、麦類、雑穀・いも類・豆類部門は低い。地域別では違いがみられ、施設野菜、花き・花木部門は多くの地域で地域の全部門平均より高く、露地野菜、稲作部門についてはほとんどが地域の全部門平均より低い。
6. 新規の認定農業者として専業農家を想定すると、今後の認定農業者の効率的な確保には、表1の専業農家に対する認定農業者の割合が低い経営形態・部門に重点をおいた取り組みが有効である。

[成果の活用面・留意点]

1. 地域状況に応じた認定農業者推進の資料として活用できる。
2. 認定農業者の対象としては、他の要因（販売額が500万円以上農家、65才未満農業専従者がいる主業農家等）も考慮する必要がある（図3）。

[具体的データ]

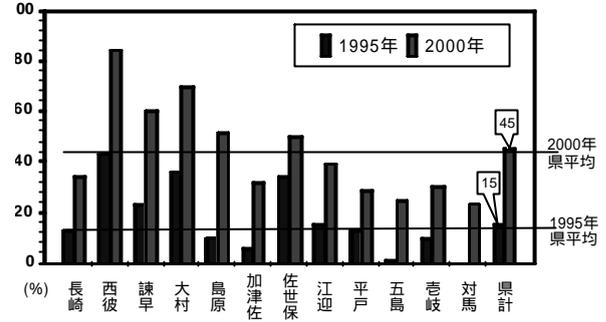
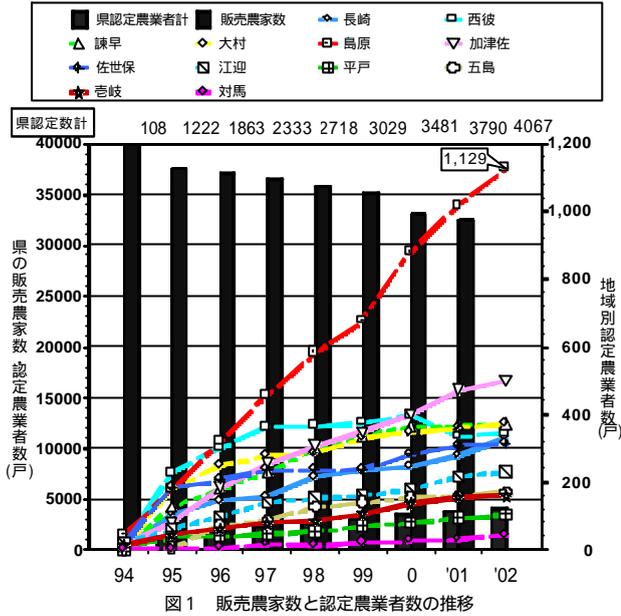


図2 専業農家に対する認定農業者の割合

表1 認定農業者の経営組織・部門内訳(上段)と、専業農家に対する認定農業者の割合(下段)(00年) (%)

	単一経営農家														準単一 複合経営農家	複合経営農家	全部門 平均 (図2 データ)	
	稲作	麦類作	雑穀・ いも類 豆類	工芸 農作物	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	花木	その他の 作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他の 畜産				計
長崎	0	-	0	-	2.1	11.2	53.2	15.5	0.9	0	2.1	0.4	0.9	-	86.3	11.2	2.6	-
西彼	0.8	-	0.3	-	0.6	11.1	36.2	5.0	0.3	1.7	7.2	3.6	2.5	0	69.4	24.2	6.4	-
諫早	3.0	-	2.0	0	0	14.4	6.6	8.9	-	3.6	2.3	5.6	0.7	-	46.9	44.3	8.9	-
大村	1.8	-	0	20.4	1.1	18.3	6.7	2.8	1.1	1.4	6.3	1.8	0.4	0.4	62.3	25.7	12.0	-
島原	0.7	-	0.7	15.4	4.6	22.1	4.6	7.6	0.2	6.2	3.9	2.9	1.6	0	70.4	24.1	5.5	-
加津佐	0	-	17.4	0	2.4	12.6	5.6	0.3	0.3	5.9	0.6	1.8	0.9	-	47.6	37.4	15.0	-
佐世保	1.7	0	0	0.9	0	5.6	23.4	13.9	-	4.8	14.3	0	0.4	-	64.9	28.1	6.9	-
江迎	2.8	-	0	15.9	0.7	13.1	2.8	4.8	-	4.8	5.5	1.4	0	0	51.7	37.9	10.3	-
平戸	2.8	-	0	26.8	0	14.1	4.2	-	-	-	11.3	0	0	-	59.2	33.8	7.0	-
五島	3.6	0.7	1.5	33.6	0	5.1	0	0.7	0	0	12.4	1.5	0	-	59.1	32.8	8.0	-
壱岐	4.1	0	0	16.3	0	7.1	2.0	2.0	-	0	11.2	0	0	-	42.9	45.9	11.2	-
対馬	27.8	-	0	-	-	5.6	5.6	-	0	0	0	0	5.6	-	44.4	33.3	22.2	-
県計	1.6	0.04	2.5	9.1	1.7	14.0	14.2	6.3	0.3	3.4	5.6	2.3	1.0	0.04	62.2	29.5	8.4	-

注1: 単一経営農家は農産物販売額1位部門の販売金額が総販売額の8割以上、準単一経営農家は6割以上8割未満、複合経営農家は6割未満をいう。
 注2: 上段□は「認定農業者が多い単一経営第一位部門の上位3部門」、下段の□は「専業農家に対する認定農業者の割合の地域平均を上回っている部門」である。
 注3: 上段の合計は100%である。

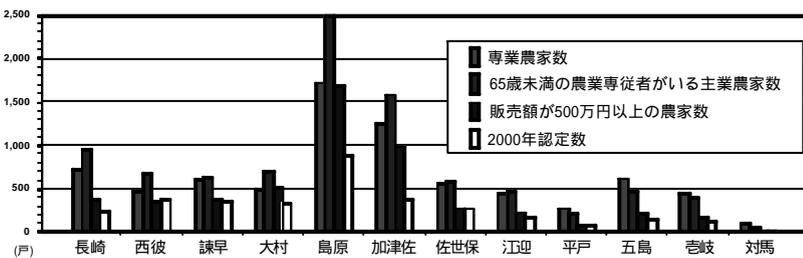


図3 認定農業者数と専業農家数・販売額500万円以上農家数・65歳未満農業専従者がいる主業農家数の比較(2000年)

[その他]

研究課題名: 地域農業活性化
 化計画支援技術の確立
 予算区分: 県単
 研究期間: 2001~2003年度
 研究担当者: 鳥羽由紀子、
 岩坪友三郎
 発表論文等: